

# ニューノーマルな時代のグッドガバナンス

アフラック代表取締役会長 チャールズ・レイク

- \* 日本企業を取り巻くメガトレンド
- \* 構築進む超VUCAな時代の国際秩序
- \* 重要性が増すステークホルダー資本主義
- \* 不可欠な共有価値の創造という視点
- \* 一番大切なのは企業文化
- \* 実効性の高いガバナンスとは何か
- \* デジタル社会で重視されるアジャイル思考
- \* 人財マネジメント制度の抜本的改革の必要性
- \* アフラックにおけるCSV経営
- \* 米国におけるガバナンスの失敗例と成功例



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
本日は、アフラック代表取締役会長のチャールズ・レイクさんにおいでいただきました。

レイクさんは1962年のお生まれで、3歳から15歳まで日本で日本の義務教育を受けられ、その後米国へ戻ったり日本へ来られたりして、最終的にはジョージ・ワシントン大学で博士号を取得され、それから通商代表部で日本部長という職に就かれたということでございます。ですから、日本の内情につきましては非常によくご存じでございます。

それから、1999年に弁護士を経てアフラックに入社されて、社長、会長を歴任されておられます。また、東京証券取引所・日本取引所グループにおいてガバナンスに関するさまざま

な改革をしてみました。その社外取締役も務められました。

今日は、そういうことで企業統治の問題を中心に、経験を踏まえてお話をさせていただけるということでございます。

それではレイクさん、よろしく願いたします。（拍手）

## 日本企業を取り巻くメガトレンド

レイク 皆様こんにちは。ただいまご紹介いただきました。アフラック代表取締役会長のチャールズ・レイクでございます。

本日はたいへん歴史が長い、また日本でも大きな存在である経済倶楽部において、先輩の皆様方が多いなか講演する機会をいただきま